

平成 30 年 5 月 30 日第 1 回通常理事会承認議決

平成 29 年度
(第 6 事業年度)

事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から
平成 30 年 3 月 31 日まで

公益財団法人ソルフェージュスクール

「平成 29 年度事業報告」目次

要 旨	1
《事業活動》	
ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）	
1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営	
（1）ソルフェージュに関する指導等および各種楽器、声楽等の実技指導	
【週 1 回のレッスン及び年数回の特別講習】	2
【月 2 回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】	2
【月 1 回のコーラスのレッスン】	3
【月 2 回のリコーダーのレッスン】	3
【春のミュージックキャンプ】	3
【夏季合宿】	3-4
【楽しくアンサンブル】	5
【成人対象の講習会】	5
（2）ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及	
① 特別プロジェクト	
【こども合唱団 レ・テタール】【0 歳児からの音遊び ウフ】	5
② 従来のプロジェクト	
【ソルフェージュスクール演奏会】	5-6
【前期おさらい会】【後期おさらい会】	6
【研究会】	7
【試演会】	7
【講師によるコンサート】	7-8
【海外の専門家（ソルフェージュ研究者等）との国際交流】	8
③ 地域プロジェクト	8
（3）資料収集、出版物刊行及びホームページの充実	8-9
2. 音楽ホール、練習室の貸与	10
3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催	10
《管理部門》	
1. 法人としての諸会議	11-12
2. 公益財団法人の情報公開	12
3. 業務執行体制の強化	12
4. 附属明細書について	12

要 旨

幼児から大人まで幅広い年齢層への音楽指導を通して、豊かな心を持つ人材の育成に努めるという当財団の公益目的を達成するため、既存の各事業内容の見直しを図り、音楽教育の原点ともいえるべき幼児から子供を中心としたカリキュラムを充実させた。

平成 28 年度の「創立 55 周年記念演奏会」特別イベントとして設けた子ども合唱隊“レ・テタール”を平成 29 年度の正式なクラスとして継続させ、同時に新たなクラス“ウフ（たまご）”を設けた。

”ウフ“は 0 歳児から未就学児を対象とし、4 月から 12 月まで（8 月は夏休み）月 1 回、無料で行い、好評であったため、1 月からは 0 歳児から 5 歳児までを対象とし、1 回 500 円の有料として開催。少しずつながら、通常の生徒としての入室もあり、生徒数の拡大につながった。

また、平成 28 年度後半に試験的に開設した facebook を活用して積極的な事業の情報発信に取り組むとともに、ホームページの刷新も行い、現在のインターネット環境に即したものとした。

《事業活動》

ソルフェージュによる音楽指導及び普及（公益目的事業 1）

1. ソルフェージュに関する研究及びソルフェージュスクールの運営

当財団の運営するソルフェージュスクールにおいて下記の事業を行った。

（1）ソルフェージュに関する指導等及び各種楽器、声楽等の実技指導

ソルフェージュの研究の促進及び指導者育成を目的として研究者、指導者及びこれから研究、指導を目指す者、また関心のある一般を対象とした研究発表会、講習会、音楽会等を開催した。いずれも一般に公開した。これら事業内容の具体的な実施の詳細については、毎月の運営委員会で決定した。

当法人が開発したソルフェージュジェットやリズムカード及び以前フランスで使われていた教本を翻訳・復元した教材等を用い、ソルフェージュスクールカリキュラムに沿って、具体的にリズム・拍・音程を習得させ、読譜力・視唱力・聴音力を身に付けさせた。それに器楽、声楽等の実技指導及び年数回の特別講習会を加え、音楽文化の理解を深めさせつつ実技を習得させた。

【週1回のレッスン及び年数回の特別講習】 一般対象 受講生のべ 840名/年

1 学期	4 月 8 日（土）～7 月 22 日（土）
2 学期	9 月 6 日（水）～12 月 22 日（金）
3 学期	1 月 10 日（水）～3 月 24 日（土）
特別講習	8 月 26 日（土）及び 8 月 27 日（日）

* レッスン及び特別講習の曜日、時間は月曜日を除く週 6 日の中から生徒と講師が相談して決めた。原則として、週 1 回のレッスンとし、年間合計で 40 回プラス特別講習 1 回を行った。

* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月2回の合奏のレッスン（室内合奏団のレッスン）】 一般対象 受講生のべ 122名/年

* 成人受講生主体で月二回の日曜日、弦楽合奏のレッスンと小グループによる室内楽のレッスンを行った。

* 原則として月 2 回とし年間合計で 22 回行った。

* 受講費は別途入室案内に公開した。

【月 1 回のコーラス “レ・グルヌイユ” のレッスン】 一般対象

受講生のべ 284 名/年

- *成人受講生主体で月一回土曜日に行った。
- *受講費は別途入室案内に公開した。

【月 2 回のリコーダーアンサンブルのレッスン】 一般対象

受講生のべ 24 名/年

- *成人受講生主体で月二回火曜日に行った。
- *受講費は別途入室案内に公開した。

【春のミュージックキャンプ】 一般対象

受講生 13 名

2018 年 3 月 31 日（土）、4 月 1 日（日）2 日間 当法人ホール及び教室

普段の個人レッスンではなかなか取り組めないアンサンブルの経験を積むための 2 日間の講座。受講生の組合せを工夫し、様々なグループで用意された曲を勉強した。二日目の最後に発表会コンサートを開催した。

シュッツ「シンフォニア」 フィッシャー「メヌエット」
 ヘンデル「花火」より 武満徹「島へ」「小さな空」
 F.バルサンティ「ソナタ第 3 番 gmoll」 モーツァルト「フルートカルテット」
 シャブリエ「3つのロマンティックなワルツ No.2」

【夏季合宿】 一般対象

受講者 11 名

8 月 3 日（木）～6 日（日）3 泊 4 日で開催

清里 ペンションフェルマータ

中学生以上を対象として毎年行う合宿。ペンションを借り切って開催。ヴァイオリン 3 名、ヴィオラ 1 名、チェロ 2 名、ピアノ 2 名、ピアノと歌 3 名。

特別講師の亀井由紀子氏に加え、コルナ紗綾、シヨーン・チャングをむかえ、スクール講師を入れて講師は全 5 名で開催。合宿の成果を参加者全員で発表するコンサートを開き、一般に公開演奏した。

■カリキュラム

	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
8/3(木)			現地集合・チェックイン 15 時					開校		レッスン		夕食	自由練習		
8/4(金)	朝食		レッスン		昼食			レッスン			夕食	自由練習			
8/5(土)	朝食		レッスン		昼食			レッスン			夕食	自由練習			
8/6(日)	朝食	ゲネプロ・コンサート			昼食	現地解散									

■講師

弦楽指導 : 亀井由紀子 (Vn 特別講師)、妹尾美紀子 (Vn)、吉村隆子 (Vc)
 ピアノ指導 : ショーン・チャング
 歌&合奏指導 : コルナ紗綾

■内容

<レッスン>

同じレベルの受講生によるクラスを編成し、クラスごとに1時間単位のレッスンを3～4回行った。

	曲 目	編 成
1	ベートーベン 弦楽四重奏 No.12 Op.127	2Vn Va Vc
2	メンデルスゾーン ピアノトリオ Op.49	Vn Vc Pf
3	ドボルジャーク ソナティナ	Vn Pf
4	ペリオ エアバリエ Op.89-1	Vn Pf
5	モーツァルト ソナタ K521	2 Pf
6	ドビュッシー 小舟にて	2 Pf
7	うた Ewe Thina, Chilcott, etc.	3Vo
8	弦楽合奏 クープラン 5つの演奏会用小品	6Vn Va 2Vc

<コンサート>

成果を発表するコンサートを4日目の午前中に開催。受講生の家族や知人等一般に公開し、好評を博した。

1	ドボルジャーク	ソナティナ 第1, 2楽章	Vn Pf
2	メンデルスゾーン	ピアノトリオ Op.49	Vn Vc Pf
3	ドビュッシー	小舟にて	2 Pf
4	タングラ	エアバリエ Op.89-1	Vn Pf
5	レスピーギ	6つの小品より ロマンズ、シチリアの狩人の歌、小さな高地の人	2Pf
6	ベートーベン	弦楽四重奏 No.12 Op.127 第1楽章	2Vn VaVc
7	ロッシーニ	セビリヤの理髪師序曲	3Pf
8	チルコット	小さなジャズミサより キリエ、グローリア、アニュスデイ	5Vo
9	クープラン	5つの演奏会用小品	Vc ソロ+ 5Vn Va Vc
10	バッハ	ピアノコンチェルト No.1 アレグロ	Pf ソロ+ 5Vn Va 2Vc

【楽しくアンサンブル】 一般対象

夏季	7月17日（月・祝）	当法人ホール及び教室	受講生 13名
冬季	12月23日（土・祝）	同上	受講生 17名

小3以上を対象とし、初見で演奏する力を養うためのアンサンブルによる1日の講座で7月と12月の2回開催した。個々の参加者の実力に合わせて無理なく楽しく、初見と共にアンサンブルの体験を積むように指導。複数回受講経験者の初見及び音楽的な演奏の進歩には顕著なものがあつた。

【成人対象の講習会】 一般対象

「大人のための基礎音楽講座」は11月2日、9日、16日、30日、12月7日の全5回・木曜日に、当法人ホール及び教室にて開催した。3名の参加であったが、音楽経験レベルに差がある生徒を同時に教えることが難しいという課題を得たので、次回の講座ではより工夫を加えることとする。

(2) ソルフェージュに関する研究、指導者育成及びその普及

①特別プロジェクト

【こども合唱団 レ・テタール】

創立55周年記念演奏会の参加目的で昨秋設けた子どもの合唱隊“レ・テタール”を正式なクラスとして継続し、毎月1回、日曜日の午前11時から12時まで、4月16日（日）から開始した。

【0歳児からの音遊び ウフ】

プレ/レ・テタールとして、0歳児～未就学児対象“ウフ oeuF”（たまご）クラスを新規に開講した。毎月1回、日曜日または土曜日の午前10時から11時まで、4月から12月までの期間（8月を除く）無料で、0歳児～未就学児に音楽を体感させる新しい試みを行い、20数名を超える参加者で好評を得た。1月からは0歳児から5歳児対象で1回500円の有料で行った。

②従来のプロジェクト

【ソルフェージュスクール演奏会 7月2日（日） 日本橋公会堂】

ソルフェージュスクールの受講生全員が、リトミック、室内楽、器楽合奏、弦楽合奏、合唱等のいずれかに出演する、外部のホールで催す年1回の定期演奏会。来場者がスクールの教育を大観し、ソルフェージュの教育を理解する重要な機会として位置づけている。

年1回、通常は異なる日に受講しているソルフェージュスクールの受講生が一堂に集まり、数回の合同練習を通して普段学習しているソルフェージュスクールでの成果がいかにか活かされるかを体感し、また聴衆前で発表するというプロセスを学んだ。幼児のソルフェージュ及びリトミッククラスのデモンストレーションもあり、これらを一般公開してソルフェージュスクールの教育のあり方を提示した。

平成 29 年度事業報告書

ピアノ連弾 A	ドゥリング「5月の朝」 「小さなワルツ」 「モリス・ダンス」
ピアノ連弾 B	ポーランドの連弾曲集より ストロメンゲル「話上手なおじさん」 プルシンスキ「指人形」
室内楽 A	ダンクラ「二重奏 Op.23-1」
室内楽 B	ヴェラチーニ「ソナタ」
室内楽 C	ベートーヴェン「三重奏 Op.3」
リミック&うた	詞:新沢としひこ、曲:中川ひろたか 「世界中のこどもたちが」
うた	詞:野口雨情、曲:本居長世 「七つの子」
器楽合奏	クリング「キッチンシンフォニー」
弦楽合奏	ストラヴィンスキー 「アポロとミューズ」より 1.アポロの誕生 2.アポロと妖精の踊り 3.カリオペの踊り 4.ポリムニアの踊り 5.コーダ
合唱	ラター「聖歌集」より There is a flower A Clare Benediction I will sing with the spirit The peace of God Look at the world

【前期おさらい会 10月29日(日)当法人ホール】 出演生徒 13名

【後期おさらい会 2018年3月21日(水・祝)当法人ホール】 出演生徒 16名

10月と3月の前後期に分けて開く発表会で、器楽、声楽を学ぶソルフェージュスクールの受講生の演奏を一般公開し、本校での教育の特徴を見てもらった。

器楽、声楽を学んでいる受講生(主に個人レッスン)は少なくとも年一回は人前で演奏披露することで、普段とは違う学習と練習を体験する大切な場であり、また生徒同士、父兄、教師にとっては個人レッスンの進捗状況を知る良い機会であった。

【研究会 5月23日(水) 2018年2月14日(水) 当法人ホール及び教室】

ソルフェージュ、器楽の教授方法、教本の使い方や生徒への対応の仕方など、時々のテーマを設けて講師一同が意見の交換をしてレッスンの質の向上を目指すための研究会であり、年2回開いた。

5月23日：器楽合奏などに使用する打楽器とリコーダーの演奏・指導法及び取扱い方法について

2月14日：「フレーズ」と「和音」

【試演会 3月4日(日) 当法人ホール】

講師有志等の独奏或いはアンサンブルによる演奏を聴き合い、日頃教える立場にある者がお互いに具体例をもって意見を述べ合うことで良い研修の機会とし、講師が自発的に企画し実施した。非公開で行った。

【講師によるコンサート】

4月と12月に開く講師及びゲスト演奏家を交えての演奏会。

「音楽は、ソロだけではなく合奏の楽しさを味わい、音楽の喜びを得る」というソルフェージュスクールの目標のひとつを、ソルフェージュスクールの講師が自らの演奏によって、より多くの方へ伝えるためのコンサートであった。

<春のコンサート 4月29日(土・祝) 当法人ホール(有料)>

第1部 バッハとの出会い

メヌエット Gdur gmoll

インベンション No6 No8

シンフォニア No2

(以上、ピアノでの演奏の後に他楽器で同じ曲を演奏)

ゴルトベルク変奏曲より「アリア」

平均律クラヴィーア No1 プレリュード

グノー「アヴェ・マリア」

主よ、人の望みの喜びよ

第2部 春を感じる室内楽

ベートーヴェン 「スプリングソナタ」より第一楽章

ウンベルト・ジョルダノー 「四月が戻ってくる」

フランチェスコ・パオロ・トスティ 「薔薇」「四月」

ゴーベール「ロマンティックな小品」

G. ガーシュウィン (J. Cohn 編曲) 「三つの前奏曲」

<クリスマスコンサート 12月17日(日) 当法人ホール (有料) >

バッハ(林徹也編曲)「ゴルトベルク変奏曲」より

アリア、第1、4、7、10、16 変奏曲

ドビュッシー「連弾 小組曲」

1.小舟にて 2.行列 3.メヌエット 4.バレエ

クリスマスキャロル

1.ひさしくまちにし 2.イエス神のみ子

3.おいでください 4.天なる神には

シューマン(林徹也編曲)「アダジオとアレグロ」

シューベルト「アヴェ・マリア」

バズレール(ロンデー編曲)「フランス組曲」

1.オーヴェルニュのブーレ 2.アルザスの唄 3.ブレスの唄

4.広く知られる子守唄 5.オーヴェルニュ山地の唄

ハーライン「星に願いを」

アンダーソン(編曲)「クリスマス・フェスティバル」

【海外の専門家(ソルフェージュ研究者等)との国際交流】 一般対象 (有料)

夏季あるいは冬季に、ソルフェージュスクールで学び、現在アメリカで活躍中のヴァイオリニスト・亀井由紀子氏を講師として招き、8月1日(火)に当法人ホールで特別講習会を開いた。4年継続して開いた特別講習会がたいへん好評で、ソルフェージュスクールで育まれたソルフェージュ音楽教育の成果、恩師ヤッシャ・ハイフェッツから得た技術及び音楽に対する姿勢等をさらに多くの人へ伝えていただく有意義な講習会であった。

③地域プロジェクト

児童及び高齢者を対象とした地域プロジェクトへ協力(講師派遣等)しているが、昨年度に引き続き、豊島区のNPO法人富士見台ひろば主催のクリスマスコンサート等へ協力した。

(3) ソーシャルメディアの活用、資料収集、出版物刊行等広報の充実

ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜、楽器を購入すると共にソルフェージュの普及のため研究成果及び教育内容などの出版を行う作業を継続した。また授業、事業活動及び法人運営資料等についてはホームページに掲載した。ホームページの内容充実と更新を継続し、タイムリーな情報発信をfacebookで行った。

① facebook の活用

昨年度後半から試験的に設けた facebook サイトだが、アクセス数が多くタイムリーな情報発信に適しており、その効果が確認できたので、今年度は本格的に展開した。

② ソルフェージュ教育に必要な図書、楽譜等の購入

Canons and Rounds for Reading, Recreation and Performance by William Stare / Summy-Birchand Inc.

Music Plus! for Violin , for Viola, for Cello by William Stare / ummy-Birchand Inc.

③ 機関誌「ソルフェージュスクール新聞」の発行

年 2 回（春夏号と秋冬号） 各 8 0 0 部発行し一般に無料配布した。

④ 独自に発行したソルフェージュ指導楽譜を教材として使用し、一般に実費配布した。

シャセバン 1、¥550－（税込）

シャセバン 2 ¥600－（税込）

シャセバン 3 ¥432－（税込）

⑤ 新しい指導教材の開発・研究

他分野の研究グループ等と連携して、ソルフェージュット新版等の指導教材の作成・検討を継続した。

⑥ ソルフェージュ教育の理念を著した冊子の発行（一般に実費配布）

当財団の設立者たちがソルフェージュ教育の理念について書き残した文書類の整理をできるだけ早急に公開できるように、分冊発行を試みる等、昨年度に引き続き作業した。

⑦ ホームページの充実

インパクトの強いデザインのホームページになるように工夫した。音楽を心の糧にし、音楽で豊かな心を育むことで人間性を高め、日本の音楽文化を進化させていけることを強く訴えることを目的として、更新間隔の短縮に努め、迅速な情報伝達を強化し、内容を濃くすると共にわかりやすい表現となるよう工夫を重ねた。

役員名簿、定款、役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程、各事業報告書及び収支計算書・貸借対照表他並びに各事業計画書及び収支予算書を公開した。

⑧ 他のデータシステムとの連携

NOPODAS（非営利法人データシステム）、文部科学省関係法人名鑑及び音楽教育関連データシステム等に登録をして当財団の周知向上を図った。

2. 音楽ホール、練習室の貸与

当財団の所有するホール及びピアノの設置された教室（練習室）を、当財団が使用していない時間に、当財団の事業及び公益目的に合致する者に低廉な対価で貸与した。とくに、音楽学校受験生の使用費用は一般の 2 割引きとして活用を促した。

3. ソルフェージュ普及のための一般向け講習会、講演会開催 一般対象（無料/有料）

【合奏及び室内楽演奏法】 原則として月 1 回 当法人ホール

室内楽授業を、原則として月 1 回、一般に無料聴講できるように公開し、合奏及び室内楽の演奏法を習得してもらうと同時にソルフェージュ教育の成果を実感してもらった。

【講習会・講演会】

諸般の事情により、今年度は行わなかった。

《 管理部門 》

1. 法人としての諸会議

定款の規定に基づき、評議員会及び理事会等を開催した。

定時評議員会は平成 29 年 6 月に 1 回、通常理事会は平成 29 年 5 月及び平成 30 年 2 月の 2 回、それぞれ開催した。

【平成 29 年 5 月 19 日 決算監査】

開催場所：当財団 2 階会議室

出席等：監事 2 名出席

【平成 29 年 5 月 31 日 平成 29 年度 第 1 回通常理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 平成 28 年度事業報告及び決算並びに平成 28 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議
2. 中村監事辞任に伴い、鳥巢修氏を新監事として定時評議員会に推薦する件の承認決議
3. 定款第 36 条第 1 項(1)の規定に基づき、江原陽子理事が当法人の講師と洗足学園音楽大学の常勤准教授を兼務することの承認決議
4. 定款の一部修正についての承認決議
5. 平成 29 年度定時評議員会の招集決議

出席等：理事 5 名、監事 1 名出席

【平成 29 年 6 月 21 日 平成 29 年度 定時評議員会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 3 階ホール

決議事項：1. 平成 28 年度事業報告及び決算並びに平成 28 年度事業報告書等に係る提出書類の承認決議
2. 中村監事辞任に伴い、監事 1 名選任の承認決議
3. 定款の一部修正についての承認決議

報告事項：1. 平成 29 年度事業計画及び収支予算書等の件
2. 内閣府の立入検査の件

出席等：評議員 5 名、監事 1 名出席、理事 5 名同席

【平成 29 年 12 月 13 日 平成 29 年度 臨時理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 就業規則改訂についての承認決議

2. 役員報酬変更の承認議決

報告事項：1. 平成 30 年度事業計画及び予算案について

2. 資産の管理運用状況について

出席等：理事 5 名、監事 2 名出席

【平成 30 年 2 月 20 日 平成 29 年度 第 2 回通常理事会】

開催方法：通常招集

開催場所：当財団 2 階会議室

決議事項：1. 平成 30 年度事業計画及び収支予算書等の承認決議

2. 平成 29 年度基本財産一部変更の承認決議

出席等：理事 5 名、監事 2 名出席

2. 公益財団法人の情報公開

平成 29 年 4 月以降に、平成 28 年度事業報告書及び計算書類等、平成 29 年度及び平成 30 年度の事業計画書及び収支予算書等を web サイトで情報公開した。

3. 業務執行体制の強化

運営委員（理事 4 名）が基本的に毎月 1 回運営委員会を開き、事業執行について、さまざまな角度から協議し、必要事項について決定した。

原則として、週一で業務会議を開き、上記運営委員会で決められた内容を、運営側と事務方との間で確認し、業務執行の進捗状況や検討事項について打ち合わせをしながら、業務を遂行した。

受付事務方が 1 名退任したが、臨時代替者のサポートを、また期末には新たな受付事務担当者を得ることができ、支障なく事業遂行を果たした。

4. 附属明細書について

平成 29 年度事業報告には「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。